

## 平成28年度第2回流山市防災会議 議事録

### 1 日時

平成28年11月10日（木）  
午後1時30分～午後2時5分

### 2 場所

流山市役所 第1庁舎4階 委員会室

### 3 会議の成立

出席委員は、27名であり、会議が成立していることが、議長から報告されました。（別紙の「流山市防災会議委員名簿」のとおり）

### 4 傍聴者

6名

### 5 議題

#### (1) パブリックコメントの実施結果について

事務局から「パブリックコメントの実施結果について」の説明後、質疑が行われました。

#### (須貝委員)

訓練をどのように行っていくのかはよく分かったのですが、意見の3行目から5行目あたりの「高齢者施設や福祉関係施設は市街地から離れたところに建てられるケースが多いように見られます。」という部分がありますが、おそらく、健常者であれば逃げられるような土砂災害や水害でも、そういう施設だと逃げにくいということを危惧していると思受けられます。先達ての東北豪雨水害の時、老人施設に土砂が入って、健常者なら逃げきれたところを逃げられなかった事例があるので、流山市でもそういう脆弱な場所があるかも含めて、回答した方が安心感が増すのではないかと思うが、いかがでしょうか。

#### (副市長)

東北では、豪雨水害の時に、福祉施設が川に面したところであって流されてしまったというケースがありました。おかげさまで流山市は、江戸川には面しているが江戸川は毎年、国土交通省が威信を掛けて、千葉県を守ろうと

いうのと東京の首都も守ろうとかなり予算配分をして、堤防を強化しています。また、3・11の時も流山市は印西市と並んで、千葉県の中では、全壊、半壊が一戸も無かった非常に揺れが少ない地域です。ただし、想定外ですから私どもが考える以上のことが起るといふこともあります。今回の防災計画では、台風が押し寄せているときに地震が来ないこともないだろうと、両方一緒に来たときも対応できるようにという考え方で、計画を作っています。少なくとも流山市の中で福祉施設や高齢者施設が、市街地からほど遠い山の中にあるというところは、今のところございません。ぎりぎり市街化区域に隣接した調整区域というのがありますが、東北の豪雨水害のような被害が想定できる場所には施設の立地を認めていないと認識しているので、そこは大丈夫ではないか思います。ただ、備えは常に想定外を含めてやっておくべきと認識しています。

(市長)

須貝委員の指摘について、副市長から答えていただきましたが、その主旨をこちらに盛るといふ指摘で、安心度が高まるということかと思えます。現状では、簡潔にこういった施設、扇状地跡などが無いので、副市長が説明したような主旨を1～3行くらいで回答した方がいふ指摘ですが、事務局いかがですか。

(事務局)

適切な表現ができるよう検討します。

(鈴木委員)

私どもは、流山市医師会、歯科医師会、薬剤師会その他関連団体と災害時の医療の方を組ませていただいています。流山市の防災計画ではどれだけ職員が流山に住んでいて、職員がどれだけできるかということ、実際の災害時には、3分の1が機能するかどうかと踏んでいます。実は今、河川敷の問題がありましたが、河川敷にひとつ民間の私立のケアセンター、江戸川の堤防から200m位離れている、旧有料道路のこちら側の老人施設において、デイサービスや入居している老人の方、認知症の方とかがいらっしゃいますので、その方々を避難させるとなると1人に対して4人が必要になる。それが時間帯にもよって違うので、私たちが決めようと思っているのは、時間帯によってどう起きたらどうするかということ。災害時には電気が通じないのでアナログでやろうということを考えています。全て紙でやった方が間違いが無い。縦長に14kmの流山市なので、救護所の情報を市役所に集

約して医療と防災と連携をとっていく事を、もう4年前から流山市の方々と一緒にやらせていただいています。やはりその施設、施設でそれなりの訓練はしていますし、市としては河川に近い施設に対しての提言を一筆残された方がいいと思います。ただ、真夜中にケアセンターにワンフロア20人いて、1人程度しか当直はおりません。施設内に看護師もひとり居るか居ないかという状況で、80人入居の方が、4人で動かせというはまず無理です。一番そこが危惧されることです。北高校に隣接してはいますが、それなりの防災訓練は毎回、きちんとその施設でも行っていますが、各市内の病院もトリアージ訓練等の防災に関してちゃんと訓練をしています。私たち開業医も東京から来られる先生となると橋が渡れない、流山橋がまず通れない、国道6号線は緊急車両になってしまうので、私たちは全く私的なことに使えない。向小金の地域になると、全く僻地になってしまうので、柏の先生たちに御願いしようと思っています。その辺も反映していただきながら、防災課としては残されて、その次は、免許センターの隣のケアセンターですので、あそこも大きなケアセンターですから、田んぼがあつて液状化がちょっとあるかという位ですが、一番危惧するというと人手の確保になります。最悪を考えてセッティングした方が、私たちは良いかなと考えています。その様な考えをもって、防災医療の会議ではやらせていただいているつもりです。ちょっと意見として述べさせていただきます。ありがとうございました。

(市長)

須貝委員からご指摘のあった件については、対応するように。それからその時に特定の一施設だけ明記するは厳しいかと思いますが、計画の対応策としては、鈴木委員のおっしゃっていただいた点をきちんと認識してください。

## (2) 流山市地域防災計画の修正について

事務局から、「流山市地域防災計画(本編)」を用いて、流山市地域防災計画の修正について説明を行いました。その後、質疑はなく、了承されました。

## (3) その他

(事務局：防災危機管理課長)

事務局から「流山市地域防災計画修正スケジュール」を使用し、今後のスケジュールに関して説明を行いました。

また、次回の防災会議は、3月14日に中央公民館第2会議室で開催の予定とし、その場で地域防災計画の完成報告と地域防災計画修正に合わせて行

う、流山市事業継続計画(BCP)、および災害時職員初動マニュアルにつきましても、報告する旨をお知らせして閉会しました。